



3期考査も終わり、やっと涼しくもなって、ほっと一息ですね。落ち着いて本の読める読書の秋になりました。コロナ禍も3年目になり、いろいろなことがコロナ以前と変わってきました。マスク生活など相変わらず不便な面もあるけれど、オンラインの普及など便利になった所もあるので、悪いことばかりではないのかなあと考えてきています。

今回は夏休みの読書感想文の表彰結果と、丘陵祭9月9日の古本道中の様子を掲載します。また今、図書館では「愛知の高校貸出ランキング 2022」の展示を開催しています。with コロナの秋ですので、図書館をたくさん利用して、こんな時こそ、本との出会いを拓けてください。



今日の展示

「2022 愛知の高校図書館
貸出ランキング」



1位は『推し、燃ゆ』宇佐見りん著 2位は何でしょう？
自分の推しの本や他の人の推しの本を見に来てください。



校内読書感想文コンクール入賞者発表

☆最優秀賞 1年8組 松岡遙優

「レモンイエロウ」（「檸檬」梶井基次郎著）

☆優秀賞 1年7組 田中未由羽

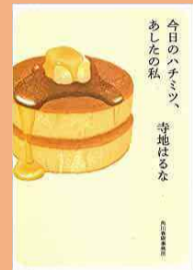
「変わるということは」（「変身」東野圭吾著）

☆優良賞 1年6組 宮崎咲帆

「向き合い出会う」
（「今日のハチミツあしたの私」寺地はるな著）

☆優良賞 3年3組 池田佳奈

「立つ人跡に残すは」（「屋根の上のサワン」井伏鱒二著）



丘陵祭図書委員会企画『古本道中』報告

先日9月9日（金）丘陵祭2日目に図書委員会企画、恒例の古本道中が催されました。今年は文化祭時に開催ができるようになり、図書委員も張り切って読書に役立つ小物やグッズ作りを行い、販売しました。

1年7組の教室で行いましたが、「お楽しみ袋」などバリエーション豊かなラインナップがそろい、来場した人は楽しそうに本を手にとっていました。夏休みに本を借りた人と古本市で本などを買ってくれた人対象にビンゴゲームも行われ、盛況でした。

今回の収益金12,400円は、新しい本を買うために使わせてもらいました。

図書委員が選んで買った本を図書館に来て是非借りていってください。ご協力ありがとうございました。

来年もお楽しみに！



丘陵祭図書委員会企画収益金での購入本

『ベノム 1～3巻』城崎著

『いのちの食べ方』十文字青著

『夜に駆ける YOASOBI 小説集』星野舞夜ほか著

『腹を割ったら血が出るだけさ』住野よる著

『おいしいごはんが食べられますように』高瀬隼子著

『満月珈琲店の星詠み』望月麻衣著

『7月に流れる花八月は冷たい城』恩田陸著

『夜に星を放つ』窪美澄 著

『invert II 覗き窓の死角』相沢沙呼著

『日の名残り』カズオ・イシグロ著

★以上12冊を購入してきました。

本が見当たらない場合は貸出中なので、予約してくださいね。



読書の秋です。
私の一冊を見つけて
くださいね。

図書係新海先生のお薦めしたい本第8弾

『塞王の楯』今村翔吾著（集英社）



直木賞受賞作。日本の戦国時代、石積みの穴太（あろう）衆と鉄砲鍛冶の国友衆との戦い。どちらも目的は戦の世を終わらせたいことなのに、完璧な石垣を作って守るか、それを打ち壊す鉄砲や、大筒の技術を高めるか、お互いに果てしない戦いを繰り返す。「矛盾」を実地で行くようなお話である。個人的には主人公飛田匡介（とびたきょうすけ）を雇い入れた戦国大名・京極高次が興味深かった。実在の人とは知らなかった。

こんな変な大名もいたんだなあとなんか楽しかった。結局戦を終わらせるのは人の心しかない。今の時代にも通じる教訓である。穴太衆の石垣の野面積は本当に素晴らしい。

お城好きの人は是非。そうでない人も是非。



図書館から『ビブリオバトル』のおしらせ

2022常滑高校ビブリオバトル大会を行います！

【1年生】日時：10月24日（月）、10月31日（月）のLT

【2年生】日時：10月31日（月）、11月7日（月）のLT

《ビブリオバトルとは？》

皆が面白いと思った本を持って集まり、それぞれが『自分の言葉』で本の魅力を伝えます。一番読みたくなった本（チャンプ本）を各クラス、グループごとにチャンプ本を決めます。

ビブリオバトルは本だけでなく紹介者の人柄も知ることができて、お薦め本と共通の趣味の友達も見つけれられるかも。

あなたの推しの1冊を図書館で捜してみてください。

そして、ぜひ、楽しんでくださいね。

